

## 令和7年度「我が国における地球観測の実施計画」概要

令和8年2月

令和7年度「我が国における地球観測の実施計画」は、「今後 10 年の我が国における地球観測の実施方針(平成 27 年 8 月 25 日、以下「第1期実施方針」という。)」から約 10 年ぶりに改訂された「今後 10 年の我が国における地球観測の実施方針—地球インテリジェンスの創出に向けて—」(令和7年1月 24 日、以下「第2期実施方針」という。)の「III. データバリューチェーンの実現に向けた我が国の取組の方向性」及び「IV. 分野別の地球観測」の項目に対応する令和7年度の関係府省の取組をまとめたものである。

## 1. 合計登録数

375 件（うち再掲 213 件）

## 2. 省庁等別の登録数(件)

総務省	14 (14)	国土交通省	3 (3)
文部科学省	49 (47)	国土地理院	8 (8)
農林水産省	14 (15)	気象庁	27 (27)
林野庁	4 (5)	海上保安庁	8 (9)
水産庁	3 (3)	環境省	29 (24)
経済産業省	5 (5)		

※ 再掲除く

※ ( )内は、第1期実施方針に基づく令和 6 年度実績値を参考値として掲載。

## 3. 「項目の種別(観測、機器開発、データ利用研究、その他)」登録数(件)

観測	120 (115)
機器開発	47 (42)
データ利用研究	118 (106)
その他	16 (14)

※ 再掲除く

※ 1 つの登録が複数項目に該当する場合にはそれぞれの項目で重複して計上

※ ( )内は、第1期実施方針に基づく令和 6 年度実績値を参考値として掲載。

#### 4. 「観測手段」登録数(件)

衛星	54 (54)
地上	60 (60)
船舶	29 (29)
航空機	11 (11)
その他	25 (25)

※ 再掲除く

※ 1つの登録が複数項目に該当する場合にはそれぞれの項目で重複して計上

※ その他には、漂流ブイ、地震計、UAV、IoT センサー等が含まれる

※ ( )内は、第1期実施方針に基づく令和6年度実績値を参考値として掲載。

#### 5. 実施方針に対応した数(件)

III. データバリューチェーンの実現に向けた我が国の取組の方向性	
1. データバリューチェーンを通じた地球観測の利活用の促進	22
2. 最先端の科学技術イノベーションに基づく地球観測の利活用の促進	23
3. 持続可能な地球観測の推進	35
4. 国際協力を通じた我が国の地球観測分野のリーダーシップの発揮	23
5. 我が国の地球観測システムの推進体制・組織等	8
IV. 分野別の地球観測	
1. 気候変動	81
2. 防災・減災	81
3. 生物多様性・生態系の保全	27
4. 海洋環境の保全	23
5. 食料・農林水産物の確保	24
6. 水循環・水資源管理	9
7. エネルギー・鉱物資源の確保	2
8. 健康・汚染	17

※ 再掲含む

## 6. SDGs に関連する施策

施策数: 314 件 (うち再掲 187 件)

<SDGs 17 の目標>

1. 貧困をなくそう	0 (0)
2. 飢餓をゼロに	12 (12)
3. すべての人に健康と福祉を	15 (14)
4. 質の高い教育をみんなに	2 (2)
5. ジェンダー平等を実現しよう	0 (0)
6. 安全な水とトイレを世界中に	12 (12)
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに	9 (7)
8. 働きがいも 経済成長も	0 (0)
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	14 (13)
10. 人や国の不平等をなくそう	1 (0)
11. 住み続けられるまちづくりを	51 (48)
12. つくる責任 つかう責任	0 (0)
13. 気候変動に具体的な対策を	97 (94)
14. 海の豊かさを守ろう	36 (33)
15. 陸の豊かさも守ろう	29 (27)
16. 平和と公正をすべての人に	4 (4)
17. パートナーシップで目標を達成しよう	22 (21)

※ 再掲除く

※ 1つの登録が複数項目に該当する場合にはそれぞれの項目で重複して計上

※ ( )内は、第1期実施方針に基づく令和 6 年度実績値を参考値として掲載。

## 令和7年度に新規に登録された取組

### ○文部科学省(1件)

- ・人工衛星と現地観測を統合し、北極域の海氷融解、海水温・塩分の変化及び森林火災による煙の拡散を継続して監視。得られたデータから、海面上昇や深層海洋循環への影響、さらには大気圏を通じた地球規模の気候変動メカニズムを解明する高度な予測モデルの開発を推進。
- ・北極のデータ空白域における海洋物理・生物化学・生態系の統合観測を実施することで、北極域特有の物質循環プロセスが全球に及ぼす影響を解明。得られた多角的なデータを数値モデルに統合することで、異常気象や水産資源変動に対する予測精度の向上と科学的知見の社会実装に貢献。

### ○林野庁(1件)

- ・海面上昇による高潮被害に対するマングローブ林の沿岸域防災・減災機能の評価

我が国の民間企業等が森林技術を海外展開する体制を整備するため、途上国の森林の防災・減災等の機能強化に資する技術等の開発の一環として、リモートセンシング等を活用してマングローブ林の消失や劣化の状況、保全活動による植林後の生育状況を把握し、マングローブの防災・減災機能を評価する。